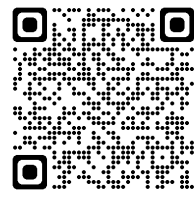


IGMリエゾンラボ新技術セミナー

夢の切片「川本法」が拓く

最新組織機能解析の世界



川本法とは？

「川本法」は組織の形態と機能の関連付けに理想的な切片を専用粘着フィルムを用いて作製する方法で、開発実用化に40年の年月を費やした。当該手法は、硬組織を含むヒト、動物、魚、植物など色々な試料から高品質の凍結切片を簡便に作製でき、従来法よりも良い結果を得る事ができる。「川本法」はこれまで不可能とされていた研究を可能にし、現在では「**Kawamoto's Film Method**」として多くの国（現 30 カ国）の最先端の研究所、大学で採用されている（北大関連：Arima et al, Cell 2012, Hasebe et al, J Exp Med 2022など）。本セミナーでは、「川本法」の概略と発明の経緯から実用化までの過程で得た経験、応用例等について講演する。更に詳しく「川本法」を学びたい方は、11月2日に川本先生による実習・研究相談会を実施いたしますのでご利用ください。

川本 忠文 先生 (鶴見大学歯学部)

セミナー

医学部百年記念館



+実習・研究相談会

医学部管理棟2F共通セミナー室2-2

11/1(水)

11/2(木)

講演時間： 15:00～16:30

希望者はメールにてご連絡ください。
bos2022@igm.hokudai.ac.jp

対象： 全学の大学院生、研究者
病院関係者、地域関連機関
定員： 50～100名程度(対面のみ)

先着順：希望多数の場合、調整させていただきます。
史料持参者は必ずご相談ください。

先着順：希望者が多数の場合、参加人数を調整させていただきます。

※本講演会ではオンライン配信、並びに動画撮影等は行いません。

10:00～12:00

▷ 凍結切片作成あるいは、「川本法」の経験の無い方 (10名程度)

13:00～15:00

▷ 「川本法」の経験者で正しく技術を学びたい方 (10名程度)

15:00～17:00

▷ 「川本法」経験者で高度な技術(特殊)を学びたい方 (10名程度)

講演後、簡単な「川本法」の実演を行います。

当日、ライカLMDの実演もあり説明を受ける事ができます。